

【学習の目標と学習方法】

・衣食住に関する実践的・体験的な学習活動を通して生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題を持って生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

<p>○授業について・生徒の皆さんに○</p> <p>*授業は、教室と被服室、調理室で行います。実習が多い教科なので指示された持ち物は、忘れないようにしましょう。</p> <p>*授業は教科書やノートに記入したり、覚えなくてはならないことは授業中に覚えてしまうように授業に集中しましょう。</p> <p>*教科書、ノートはロッカーに保管して、テスト前に持ち帰り学習しましょう。</p> <p>*調理実習や作業は、指示を良く聞き安全に怪我なく楽しい実習・作業をしましょう。</p>	<p>○家庭学習について○</p> <p>*家庭の仕事を家族の一員として積極的に行きましょう。</p> <p>*食事や弁当づくりなど、自分の力で準備出来るようにしましょう。 (食べることは、生きていく基本です)</p> <p>○試験前はこのような取り組みもう○</p> <p>*授業で行ったこと、説明したことを中心に出題します。普段の授業から、大切なことはチェックして、試験前にそれを覚えるようにしましょう。</p>			
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価観点	家族・家庭の基本的な機能についてりかいを深め、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境などについて理解していると共にそれらにかかわる技能を身に付けている	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見だして課題を設定し解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを理論的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、より良い生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	
評価資料	・作品製作 ・ノート ・定期考査 ・実技テスト	・作品製作・提出物 ・ノート ・定期考査	・作品製作・提出物 ・ノート ・定期考査 ・実技テスト	

1年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	35時間
	食事の役割 食生活の課題 (4)	栄養素の働き 6つの食品群 (5)	選択と購入、食品 概量と値段 (4)	調理の基礎を知ろう 日常食の調理 (6)	テーブルコーディネートを考え た被服製作 (6)	1日分の献立を考え よう (2)	地域の食文化 食品の安全 (8)						
2年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	35時間
	衣服の働き (3)	目的に合った着装 カラーコーディネートの実践 (3)	衣服の伝統文化 和服(浴衣)の着装 (6)	衣服の手入れ (繊維について) (3)	ミシン指導、布を使ってつくってみよう エプロン・巾着の製作 (10)	消費生活 (6)	住まいの働き を知ろう(4)						
3年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	18時間
	幼児の心身の発 達と特徴 (2)	幼児の遊びと発達の関わり (4)	幼児が喜ぶおもちゃ作り(布のおもちゃ) テディベア製作 (6)	幼児の食事 幼児のおやつ作り (3)	家族・家庭と地域 災害時の助け合い (3)								

